

2016年8月18日  
日本サーバス本部

## **Servas International (SI) News Bulletin (Vol. 2 No. 2 2016) のご紹介**

通常の SI News であれば気に入った記事やエッセイを選んで読めば良いので、要訳も解説も不要ですが、SI News Bulletin は SI Executive Committee (SI Exco) の業務レポートであり、面倒な記事もありますので、目次にそって以下にご紹介します。興味あるテーマについて原文をお読みくださり、さらに担当役員のページやリンク先を訪ねていただければ、国際サーバス(SI)の活動について理解を深め、会員として、日本サーバスとして、SI の活動に参加や協力する方途を発見できると思います。

今期 (2016-2018) の SI Exco メンバーの名前とメールアドレス、および SI ホームページ (HP) とフェイスブック(open と closed の 2 種類あり) の URL は原文巻末記載の通りです。

### **1. SHE LEADS THE SERVAS INNOVATION PROJECT**

昨年のニュージーランド国際大会において、サーバスの今後の発展を促進する目的で「SI イノベーションプロジェクト」が開始され、リーダーの Aneris Cas は最初のアイデアの実現として下記2の活動を企画しています。

### **2. “INTERNATIONAL SERVAS WEEK” IN SEPTEMBER (上記1プロジェクトリーダー Aneris Cao)**

国連 International Day of Peace である 9 月 21 日をはさむ 9 月 17 日～26 日を「国際サーバス週間」として、” Connecting SERVAS: making connection with the world” をモットーに、サーバスの諸価値や活動を盛り上げていこうとするものです。チームのメールアドレスで活動の詳細を尋ねてみてください。

### **3. STORYTELLING TO PROMOTE SERVAS (SI Image & Design Support Team リーダー兼 SI フェイスブック管理人 Stefan Fagerstrom)**

サーバスの理念と活動を HP やソーシャルメディア上で宣伝するための、物語や写真を募集しています。

### **4. “ONE SMALL STEP FOR HUMANITY, ONE GIANT LEAP FOR SERVAS” (SOL プロジェクトマネージャー Bernard Andrieu)**

フランスサーバスは、会員の全データを SOL (ServasOnLine) システムへ移行しました。会員は自由に自分のデータを更新したり地図を入れたりすることができます。各国がこの動きに追従することが期待されています。

## **5. SERVASONLINE LEVY REQUIRED TO COMPLETE INTERNET PROJECT (SI 会長 Jonny Saganger)**

SI の HP 更改と SOL システム構築の経費を賄うために、2009 年のアルゼンチン国際大会において、100 名以上の会員を有する国のサーバスから、2010-2012 の3年間にわたって会員 1 名あたり1スイスフランの計算で分担金 (Levy) を徴収することが決議されました。日本サーバスは勿論言われたとおりに納入しましたが、この Levy を完納していない国が 10 ヶ国あり、SI Exco はその対応に苦慮しているようです。たとえばインドは、会員から年会費を招集していないので定期収入が無く、人頭税のような形の年払い Levy 徴収には初めから反対というわけです。インド出身の SI 会計役 LV Subramanian はこの問題をうまく解決してくれるでしょうか。

## **6. UPDATE ON SERVAS' NEW WEBSITE AND SERVASONLINE (SI 会長 Jonny Saganger)**

SI の新しいウェブサイトの立ち上げが近づいています。会員データベースの Dolphin システムから SOL システムへの移行が完了した暁には、ネットワーク上でホストとトラベラーの双方向コミュニケーションや、地図上でホストの検索も可能になるでしょう。その移行は、SI ホストリストコーディネーター(HLC)の Pablo Colangelo が、各国サーバスの会長 (National Secretary) と協力して進めることとなります。現在はフランス、ニュージーランド、カナダの3カ国が SOL システムのテストに参加しています。SOL 開発にかかるユーチューブ動画を見てください。

## **7. SERVAS GENERAL SECRETARY UPDATE (SI 事務局長 Penny Pattison)**

(1) SI の公用語は英語とスペイン語です。スペイン語翻訳チームが本格的に組織されて活躍中です。(2) 各国サーバスの 2015 年度年次報告は、77 国中 56 国が提出済み。過去の年次報告を活用するためにデータ分析専門家の協力が求められています。(3) SI が蓄積した文献資料が 2007 年以前だけで 110 箱あり、その後は電子記録が増大し続けています。それらを取捨整理保存する SI Archivist が選任されていますが協力者が必要です。(4) SI の HP 中、「サーバスと国連」、「行事と会合」、「管理」の項目が新設/更新されました。いずれも意見やコメントの投稿歓迎とのこと。別便で武山さんから紹介されたように、SI ユースチームのリーダーが「HP に “Youth & Families” セクションを追加するので、ネタ情報や記事原稿を募集中」とのニュースもあります。

## **8. MAKE YOUR VOICE HEARD AT THE UN (SI ピースセクレタリー : Danielle Serres)**

国際 NGO としてのサーバスは、国連経済社会理事会 (UN ECOSOC) の諸会議に出席して意見を述べる資格があります。SI の下に、ニューヨーク、ジュネーブ、ウィーンにおける国連の会議に派遣される代表チームが選任されており、このチームのメンバーを通せば一般会員がこれらの会議を傍聴することも可能です。直近では 9 月 13 日～30 日にジュネーブで開催される国連人権委員

会で発言すべき内容について意見を募集中です。

#### **9. NOVEMBER 2016 DISTANT VOTE**

3年ごとの国際大会のない年には、Eメールを使って各国サーバス代表から議題を募集し、SI Excoが必要と認めた問題についてEメール投票による決議 (Distant Vote) が行われます。詳細はリンクをご覧ください。

#### **10. IMPORTANT TO KEEP COUNTRY HOST LIST UPDATED (SI HLC: Pablo Colangelo)**

ホストとトラベラーの交流を円滑に進めるためには、ホストリストを最新の状態に維持することが大切です。掲載事項に訂正や変更がある場合は、速やかに自国のHLCに申し出て下さい。国単位では、できるだけ多くの国が10名以上の会員をリストに載せる条件をクリアすることによって、国際大会に代表を派遣してサーバスの将来のための重要な決定に参画できるようになることが望まれます。

#### **11. OPPORTUNITY FOR YOUNG SERVAS MEMBERS (SI HLC: Pablo Colangelo)**

昨年のニュージーランド国際大会で、「サーバスの組織は rejuvenation (若返り) が必要」との議論が出て、その目的の作業グループが新設されました。そこでの検討結果は本年末までにSI Excoに報告され、将来の作戦を含めて次回の国際大会でも発表される予定です。この作業グループの活動に関心のある若い世代の会員は、SI HLCに申し出てください。

#### **12. ABOUT THE SERVASONLINE SYSTEM PROJECT (同プロジェクトマネージャー: Bernard Andrieu)**

SOLシステムは、wwwの開設、情報と通信の基盤 (ICT プラットフォーム)、会員データベースの適用、の各部分からなります。そのサーチエンジンはサーバス関係者間のあらゆるコミュニケーション/相互作用を促進し、会員増強にも役立つでしょう。事務管理の負担や経費を減らして、その分、平和やサーバスの価値を広める活動に注力することを可能にするでしょう。システムの設計段階ではフランスのソフト会社、開発段階ではインドのソフト会社が関与して、今年6月にテスト版が作成されました。システムの完成を急いで、会員減少のくい止めと新規会員の獲得に役立てましょう。ネットワークの組織管理や編集に経験ある会員の協力を求めています。SOL チームのメールアドレスにコンタクトしてください。テスト版の URL も参照してください。

#### **13. FACTS ABOUT SERVASONLINE SYSTEM (SI 会長: Jonny Saganger)**

SOL システム開発の経緯と現状の紹介で、テスト版へのリンクがあります。ちなみに、オレンジ色と緑色を使った現在のサーバスのロゴマークは、SI Image & Design Support Teamによって2014年に創作されたもので、日本サーバスでも新ロゴの使用を開始しています。

#### **14. SURF IN AND VISIT SERVAS CURRENT WEBSITE**

前述のように、SI の HP (<http://servas.org>) は 2014 年に全面的に更改されました。デスクトップにでも置いて随時ご覧ください。

#### **15. WHAT SI EXCO HAS DECIDED – FIND OUT HERE**

過去の SI Exco 会議の議事録がリンクされています。直近は今年 5 月 15 日の会議の議事録です。

以上